

Takara standard

レンジフード 取扱説明書

ホーロー整流板付シリーズ

VRAE-Eシリーズ

保証書付

VRAE-E751AD□・901AD□

VRAS-Eシリーズ

VRAS-E751AD□・901AD□

VRAS-E751B□・901B□

VRAS-E751BD□・901BD□

VRASシリーズ

VRAS-751B□・901B□

VRAS-751BD□・901BD□

VRAS-751BH□・901BH□

VRAS-751BDH□・901BDH□

VRAS-751BJ□・901BJ□

VRAS-751DT□・901DT□

※□はL、Rが入る

もくじ

1. 各部の名称と仕様	……	1	5. お手入れサインの機能	……	12
2. 安全上のご注意	……	2	6. 故障かな?と思ったら	……	13
3. 使用方法	……	4	7. アフターサービス	……	14
4. お手入れのしかた	……	7	8. 保証書	……	15

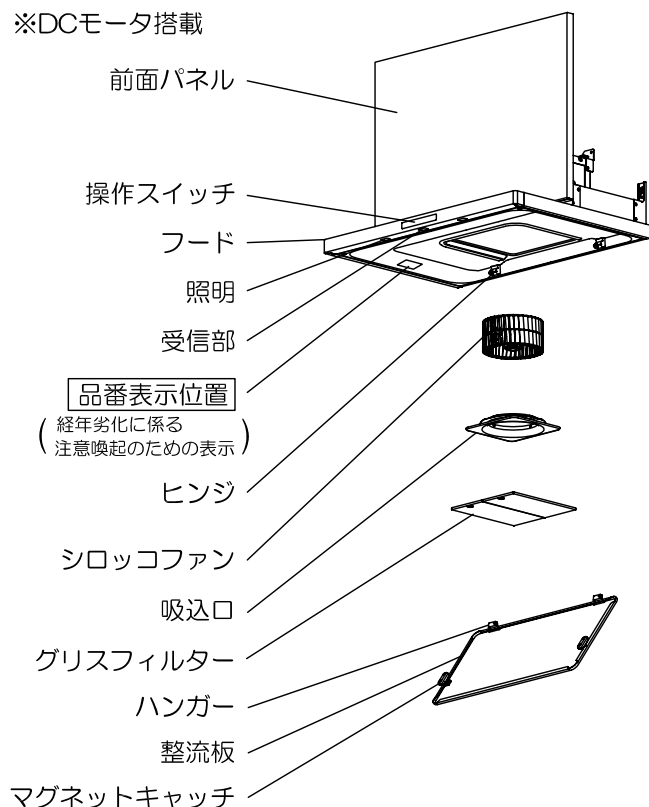
このたびはタカラレンジフードをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は
いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

1. 各部の名称と仕様

整流板は捕集性能を向上させるためのものです。
取付けてご使用ください。

VRAE-E/VRAS-Eシリーズ

※DCモータ搭載



※消費電力、風量、騒音の測定はJIS C9603によります。
数値は静圧OPaのときを示します。
設置環境により実使用の数値とは異なります。
レンジフードに使用している部品は、性能向上などのため
予告なしに一部変更することがあります。

■VRAE-EAD/VRAS-EAD/VRAS-EB/VRAS-EBD型

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)		騒音 (dB)
			OPa	0~150Pa	
100V 50/60Hz	強	40	—	444	44
	中	15	—	297	33
	弱	8	223	—	27

■VRAS-B/VRAS-BD/VRAS-DT型

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	103/121	567/548	47/47
	中	62/63	349/314	36/34
	弱	34/33	210/193	26/25

■VRAS-BJ型

定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	103/121	567/548	47/47
	弱	62/63	349/314	36/34
	常時	11/15	105/131	21/22

■VRAS-BH/VRAS-BDH型

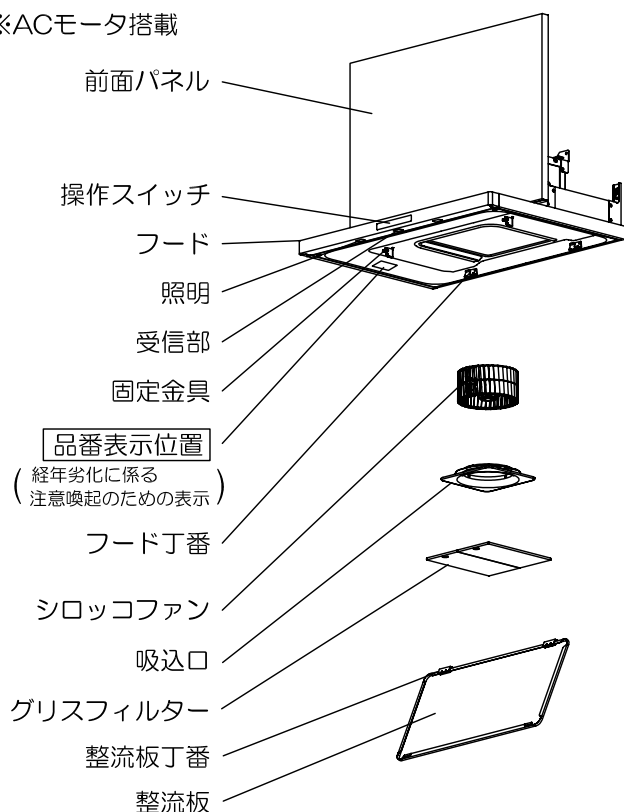
定格	風量	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	130/158	632/666	50/51
	中	84/87	412/367	40/37
	弱	42/43	213/198	26/25

■質量 (kg)

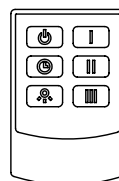
	間口75cm	間口90cm
VRAE-E/VRAS型	21kg	23kg
VRAS-E型	20kg	22kg

VRASシリーズ

※ACモータ搭載



リモコン (別売)

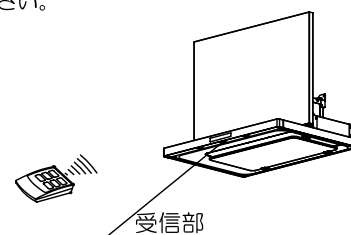


RHリモコン-2



RHリモコン-2BJ
※常時換気用

- ・リモコンにはリモコンホルダーが同梱されていますが、ご使用の際にはリモコンを手に持ち、フードの受信部に向けて操作してください。
- ・リモコンの使用方法はリモコンに同梱されている取扱説明書をご覧ください。



2. 安全上のご注意（１）

必ずお守りください

- ご使用前に安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 表示と絵文字の意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。	 	行為の指示（必ずすること） 必ず実行してください。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。	 	禁止行為（してはいけないこと） 絶対にしないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

警 告



分解禁止

- 改造はしないでください。修理技術者以外の人は分解したり修理をしないでください。
火災、感電、けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



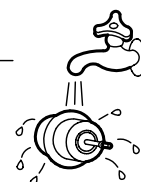
禁止

- 電源は交流100V以外では使用しないでください。
交流100V以外の電源を使うと、火災・感電のおそれがあります。



水ぬれ禁止

- モータ、操作スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしないでください。
ショート、感電のおそれがあります。

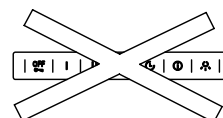


- 異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
 <異常・故障例>
 - ・操作スイッチを入れても動かない。
 - ・電源コードや配線に深いキズがある。
 - ・配線を動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・その他、異常を感じる。
 そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがをするおそれがあります。
 ※すぐに電源プラグを抜いて販売店へ点検、修理を依頼する。

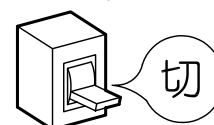


禁止

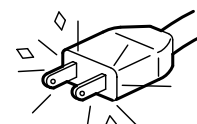
- ガス漏れのときは、操作スイッチを入り切りしないでください。
爆発・引火のおそれがあります。



- お手入れの際は、必ずスイッチロックをするか、または分電盤のブレーカを切ってください。また、ぬれた手で分電盤のブレーカを入り切りしないでください。
感電やけがをするおそれがあります。



- 電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふいてください。
火災の原因となります。



注 意

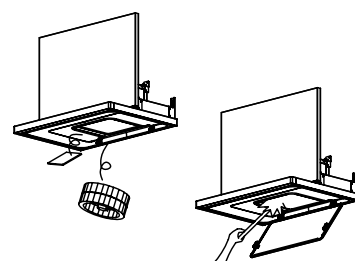


- 部品の取付は確実に行ってください。
部品の落下により、けがをするおそれがあります。



接触禁止

- 運転中は危険ですから、シロッコファンの中に指や物を入れないでください。
けがをするおそれがあります。



2. 安全上のご注意（2）

必ずお守りください

⚠ 注 意



禁止

- 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないでください。
本体、部品の落下により、けがをするおそれがあります。



禁止

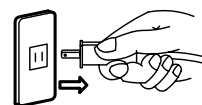
- フードの天面部には、ものを載せないでください。
フード部の落下及びものの落下により、けがをするおそれがあります。



- 整流板の取付け、取りはずしは確実に行ってください。
落下により、けがをするおそれがあります。

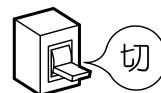


- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。



電源プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってください。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



- 清掃時には、ゴム手袋などをお使いください。
板金の端などで、けがをするおそれがあります。

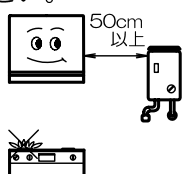


お 願 い

- 高温になる使いかたはしないでください。

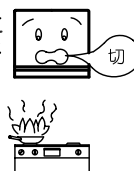
- ・ 加熱器具の空だきはしない。
- ・ 湯沸器の取付は50cm以上離す。

モータ焼損、排ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります。



- 誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、火を消すと同時にレンジフードの運転を停止してください。

運転していると火の勢いが強くなります。



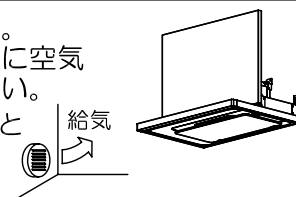
- 台所の全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。

- レンジフードにもたれかかったり、ぶら下がったりしないでください。

レンジフードの破損や変形の原因となります。

- 空気の入れ口が必要です。
効率の良い換気を行うために空気の入れ口を設けてください。

空気の入れ口が不十分ですと換気性能が低下します。



- 調理機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

- 吸込み部分に市販の繊維フィルターなどを取付けないでください。

レンジフードの風量低下につながるほか、火災予防条例上、使用が制限される場合があります。

- IH ヒータなど表面がガラスの加熱器具をご使用の場合、お手入れの際はガラス面を保護してください。

物が落ちて、ガラスが割れるおそれがあります。

- キッチン周辺の気温が低いときに使用された場合には、レンジフードの表面が結露することがあります。

結露した場合は、ふき取って使用してください。

- レンジフードご使用时、気流（エアコンなどの風）が直接あたらないようにしてください。

気流（エアコンなどの風）の影響を受けると吸込み低下につながる場合があります。

- シロッコファンを取付けていない状態で、レンジフードを運転しないでください。

モータの不具合および換気性能の低下につながる場合があります。

3. 使用方法（1）

■操作スイッチ

ご 注 意

- ◎操作スイッチはひとつずつ操作し、本説明書に記載の操作以外で、複数の操作スイッチを同時に押さないでください。
- ◎操作スイッチは指の腹で軽くふれるだけで作動します。強く押さないでください。

標準タイプ（VRAS-BJ型以外）



常時換気タイプ（VRAS-BJ型）



標準タイプ	常時換気タイプ	備考
切スイッチ		レンジフードの運転を停止するときに使用します。
	常時換気スイッチ	調理時以外で使用します。（取扱説明書のP.5『常時換気スイッチ』参照）
弱スイッチ	弱スイッチ	油煙の少ないときや調理後の換気をするときに使用します。
中スイッチ		通常の運転のときに使用します。
強スイッチ	強スイッチ	油煙の多いときや、早く換気するときに使用します。
タイマースイッチ		レンジフードの運転（弱・中・強）を数分後に自動停止させるときに使用します。調理後の熱気やニオイを排出するときなどにお使いください。 レンジフード運転中に設定してください。 ※照明はタイマーと連動しません。 設定方法 ・ 1 回押し「受付音（ピッ）」 ⇒タイマーの表示ランプが点滅し約3分後に運転停止 ・ 2 回押し「受付音（ピッ）」 ⇒タイマーの表示ランプが点灯し約10分後に運転停止 ・ 3 回押し「受付音（ピーッ）」 ⇒タイマーの表示ランプが消灯し設定解除
お手入れスイッチ		お手入れ期間を確認するときや、お手入れ期間の設定を変更するときに使用します。（取扱説明書のP.12『5.お手入れサインの機能』の項参照）
ランプスイッチ		操作スイッチを押すたびに照明が「点灯/消灯」を繰り返します。

3. 使用方法（2）

24 常時換気スイッチ

常時換気タイプ（VRAS-BJ型）のみ対応

住宅の全体換気をするときや、調理時以外も二オイや湿気を換気するときにお使いください。
24時間少しずつ静かに換気することができます。住宅の全体換気としてレンジフードを使用する場合、
調理時やお手入れ時以外は常に常時換気運転をしてください。

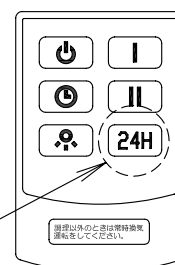
操作方法 常時換気スイッチにより入/切を操作します。

- ・常時換気運転を設定（入）する場合
⇒常時換気スイッチ（24）を押してください。「受付音（ピッ）」
（常時換気運転開始、常時換気表示ランプ点灯）
- ・常時換気運転を解除（切）する場合
⇒常時換気スイッチ（24）を約3秒間長押ししてください。「受付音（ピーッ）」
（常時換気運転停止、常時換気表示ランプ消灯）

※リモコンで操作する場合は、常時換気スイッチ（24H）を押すたびに入/切が切り替わります。



常時換気スイッチ



RHリモコン-2BJ
【別売】

ご注意

常時換気運転中、他の操作スイッチ（I・II）を押すと、優先的に切り替わります。
そのあと、切スイッチ（OFF）を押すと、自動で常時換気運転に戻ります。
常時換気運転を停止する場合は、常時換気スイッチ（24）を約3秒間長押ししてください。
※常時換気運転時はタイマースイッチ（C）と連動しません。

操作スイッチの「ロック」と「ロック解除」の方法

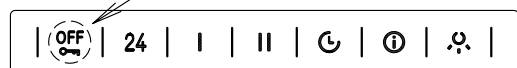
※お手入れの際はスイッチロック設定を行ってください。

<スイッチロック設定方法>

運転停止の状態、切スイッチ（OFF）を約3秒間長押ししてください。
受付音（ピピッ）がした後、操作スイッチがロックされます。
※照明が点灯していた場合は消灯します。
※スイッチロック設定中は切スイッチ（OFF）が点滅します。
操作スイッチを押しても運転しません。



切スイッチに約3秒間長押し



<スイッチロック解除方法>

スイッチロック設定と同じ操作を行ってください。
受付音（ピーッ）がした後、操作スイッチのロックが解除されます。

【操作スイッチのお手入れ時のお願い】

- ◎お手入れは洗剤を使用しないで、水ふきで行ってください。
- ◎洗剤を使用されると、操作スイッチの動作が不安定になることがあります。
この場合、水を浸した布で洗剤成分を取りのぞき、しばらく待ってからご使用ください。

3. 使用方法（3）

レンジフード連動型加熱機器と組み合わせてご使用になる場合

常時換気タイプ（VRAS-BJ型）に
本機能はありません。

- ・加熱機器を加熱開始（着火）すると、レンジフードは自動的に運転を開始します。
風量は連動開始時の運転状態により自動で設定されます。（下表参照）
（注1）加熱機器の機種によっては、異なる動作をする場合があります。
加熱機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- （注2）本製品の通信規格はNECフォーマット（38kHz）を使用しています。
これ以外の通信規格では連動できません。

	加熱開始前	加熱開始（着火）
レンジフード の 運転状態	停止	中運転
	弱運転	
	中運転	
	強運転	強運転

- ・加熱機器を加熱停止（消火）すると、レンジフードはそのままの風量で運転を続け、
約3分、または約10分で運転を自動停止します。
（タイマー運転については、P.4「タイマースイッチ」の項参照）

	加熱停止前	加熱停止（消火）
レンジフード の 運転状態	連続運転中	3分タイマースタート
	3分タイマー設定	3分タイマー再スタート
	10分タイマー設定	10分タイマー再スタート

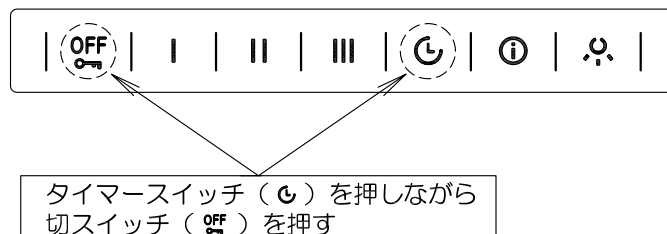
- ・レンジフードの風量切替および照明の「点灯/消灯」などの操作を加熱機器の操作スイッチで
できる機種もあります。
詳しくは、加熱機器の取扱説明書をご覧ください。

加熱機器との連動を解除したいとき <初期設定（工場出荷時）は、[連動する] になっています。>

運転停止の状態、タイマースイッチ（) を押しながら切スイッチ（) を押すと受付音が鳴り、
[連動する] と [連動しない] が切り替わります。

（注1）加熱機器にレンジフード操作スイッチがある場合、「連動しない」の設定状態でも、
加熱機器のレンジフード操作スイッチで、レンジフードを操作することはできます。

（注2）コンセントを抜いたり、電源ブレーカを切ったり、停電があった場合、
設定は初期設定に戻ります。



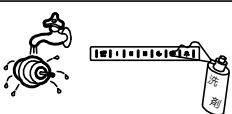
確認ブザー

- ・[連動する]→[連動しない]：「受付音（ピーッ）」
- ・[連動しない]→[連動する]：「受付音（ピピッ）」

操作スイッチの表示ランプ

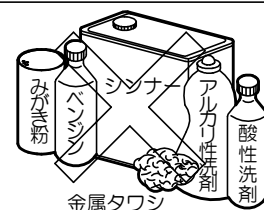
- ・[連動する]→[連動しない]：運転スイッチ（・・）が2回点滅
- ・[連動しない]→[連動する]：消灯したまま

4. お手入れのしかた（１）

 警告	 お手入れの際は、スイッチロックをするか、または分電盤のブレーカを切ってください。また、ぬれた手で分電盤のブレーカを入り切りしないでください。感電やけがをするおそれがあります。	
	 モータ、操作スイッチなどの電気部品には、水や洗剤などをかけたりしないでください。ショート、感電のおそれがあります。	
 注意	 清掃時には、ゴム手袋などをお使いください。板金の端などで、けがをするおそれがあります。	

ご 注 意

- ◎塗装の変質、変色、はがれなどの防止のため、みがき粉、ベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、金属タワシなどは使用しないでください。お手入れには中性洗剤をお使いください。
- ◎部品の取りはずし・取付けの際は、落下させないように注意してください。



お 願 い

- ◎グリスフィルターに油、ほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。約1ヶ月に1度を目安として掃除してください。
- ◎操作スイッチのお手入れは、次の点に注意してください。
 - ・お手入れは洗剤を使用しないで、水ふきで行ってください。
 - ・洗剤を使用すると、操作スイッチの動作が不安定になることがあります。この場合、水を浸した布で洗剤成分を取りのぞき、しばらく待ってから使用してください。

■整流板をはずすには

ご 注 意

- ◎調理後は整流板が熱くなっている場合がありますので、注意してください。
- ◎整流板は重量があります。整流板の取りはずし・取付けの際、落下させないように注意してください。
- ◎整流板に取付いている金具などを掃除する際は、ゴム手袋などを必ず着用してください。
- ◎整流板を取扱う際は無理な力を加えないでください。

<マグネットタイプの場合>

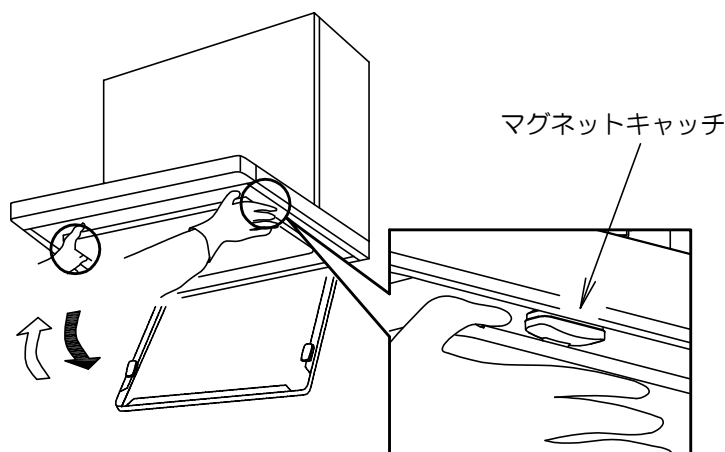
①整流板の開けかた・閉めかた

開けかた

1. 図のように両手で整流板をしっかり支えてください。
 2. 整流板をさげて、整流板のマグネットキャッチをレンジフード内側からはずしてください。
 3. そのまま整流板をゆっくりさげてください。
- ※整流板を開けると、レンジフードが強制停止し切スイッチ（OFF）が点滅します。強制停止中はいかなる操作も受け付けません。
- ※マグネットキャッチは自在に動くように設計されています。故障ではありません。

閉めかた

1. 整流板を両手で持ち、ゆっくり持ちあげて整流板のマグネットキャッチをレンジフード内側に吸着させてください。



4. お手入れのしかた（2）

②整流板の取りはずし・取付け

取りはずし

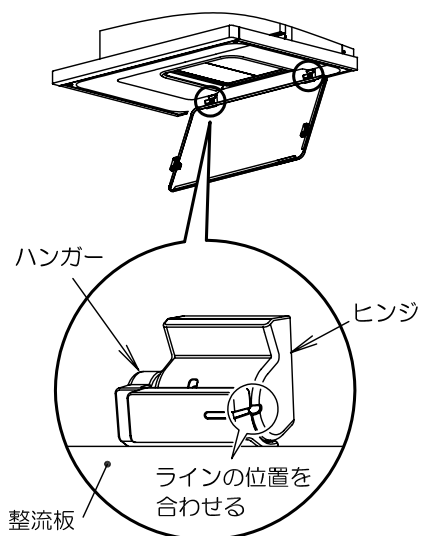
1. 整流板を両手で持ちながら上下に動かし、ハンガーとヒンジのラインの位置を合わせてください。
2. 整流板を向かって左へスライドさせてください。
3. 整流板をあげると、はずれます。
※整流板を落下させないように両手でしっかり持ってください。

取付け

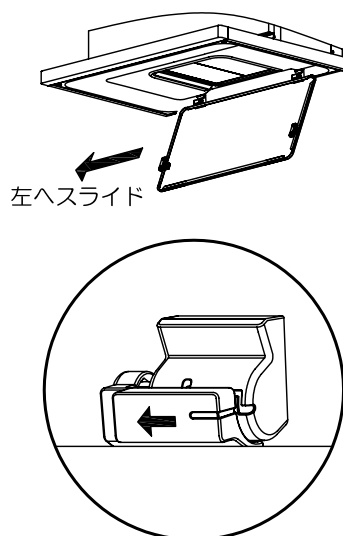
1. 整流板を両手で持ち、ハンガーをヒンジに押し付けるようにしながら、互いのラインの位置を合わせてください。
2. そのまま整流板を向かって右へスライドさせてください。
3. 右に突き当たったら整流板を少しさげ①、ヒンジのラインがハンガーで隠れるまで右へスライドさせてください②。
4. 整流板をゆっくりあげて、閉めてください。

取りはずし

1



2



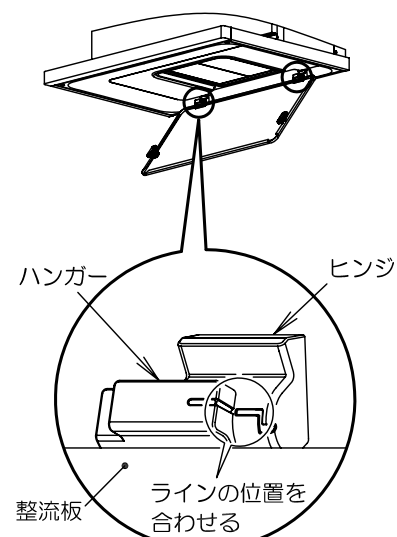
3



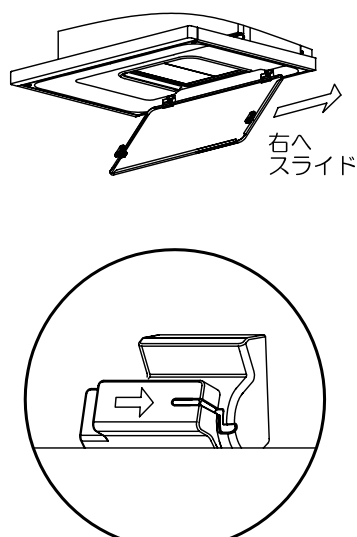
※整流板がはずれますので落下させないように両手でしっかり持ってください。

取付け

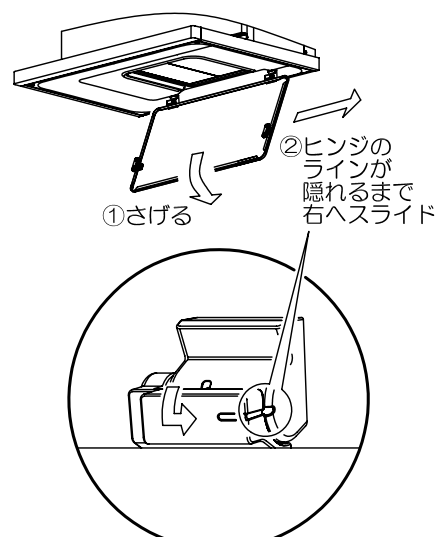
1



2



3



4

整流板をゆっくりあげて、閉めてください。

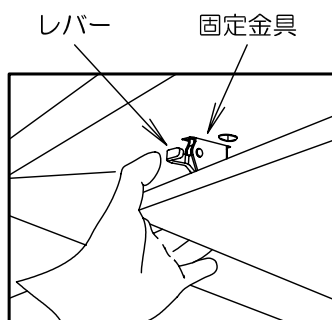
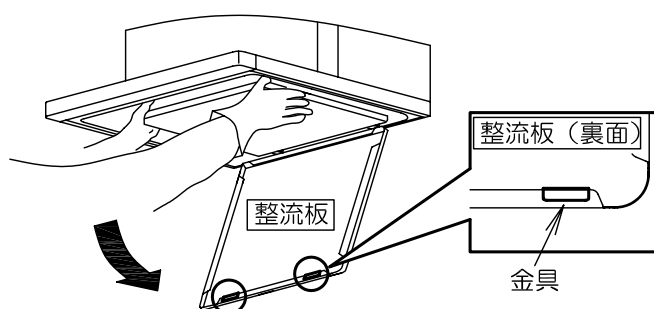
4. お手入れのしかた（3）

<レバータイプの場合>

①整流板の開けかた・閉めかた

開けかた

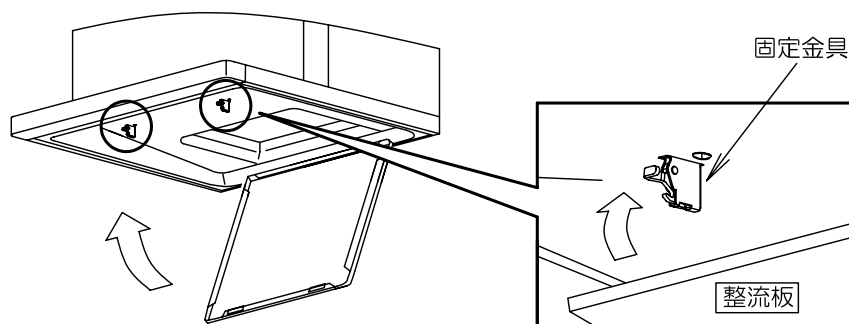
1. 下図のように両手で整流板をしっかり支えてください。
2. 指で固定金具のレバーをさげてください。（左右両方）
3. 整流板を両手で支えたまま、ゆっくりさげてください。



※整流板の金具は、取りはずさないでください。
整流板の金具を掃除する際は、金具の端面に
注意してください。

閉めかた

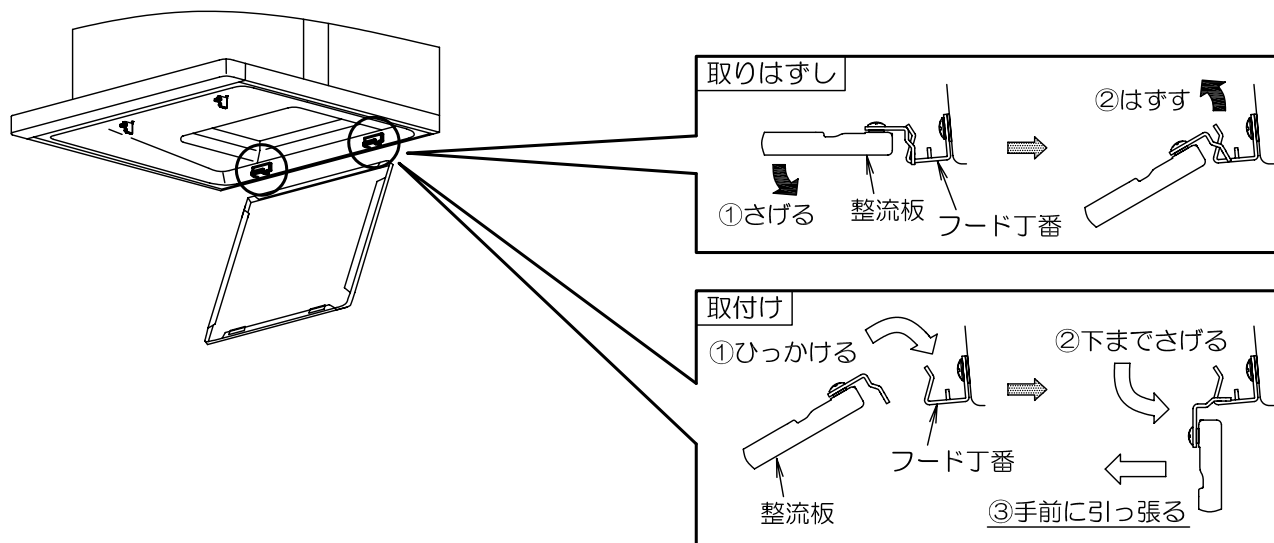
- 固定金具に向かって整流板をゆっくり押しあげてください。



※整流板を閉めた後、確実に固定
金具に掛かっているか、整流板
の中央を片手で持ち、軽く下へ
引き、はずれないことを確認
してください。

②整流板の取りはずし・取付け

- 下図のように整流板をフード丁番から取りはずし・取付けしてください。



■整流板の汚れは

- 中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように十分にふき取ってください。

※整流板を食器洗い乾燥機で洗うことはできません。

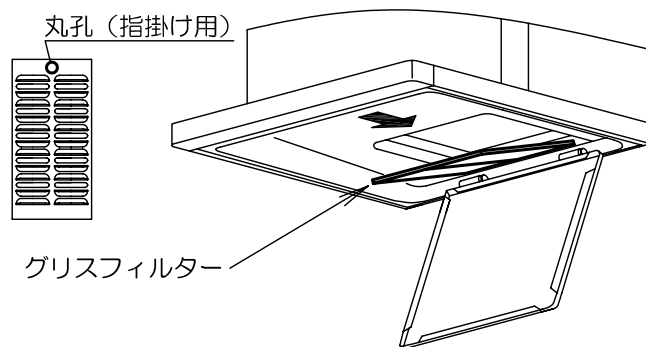
4. お手入れのしかた（4）

■グリスフィルターをはすすには

ご 注 意

◎取りはすす際は、グリスフィルターに手をそえて、落とさないように注意してください。

- グリスフィルターは丸孔を奥へ押すようにして、手前側の溝からはずしてください。
- グリスフィルターの取付は、逆の手順で行ってください。



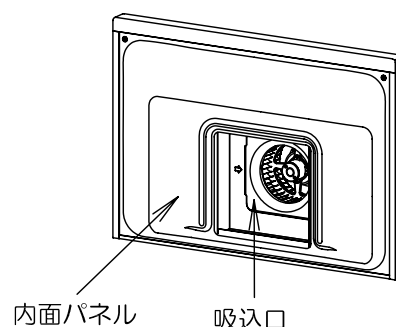
■グリスフィルターの汚れは

- 中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中に浸しておいてから、樹脂製タワシで汚れを落としてください。
 - 水分をよくふき取ってから、取付けてください。
- ※グリスフィルターは食器洗い乾燥機で洗うこともできます。お使いの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。汚れがひどい場合は、予備洗いをしてから、食器洗い乾燥機で汚れを落としてください。



■内面パネルの汚れは

- 中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう十分にふき取ってください。
- 吸込口の汚れは、吸込口をはずしてから、ふき取ってください。



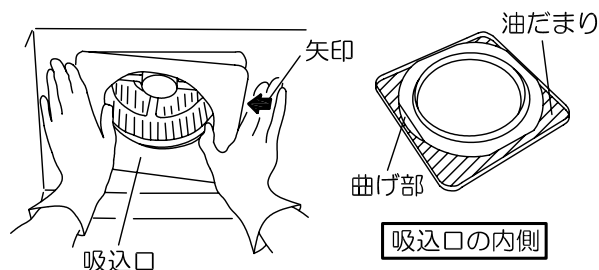
■吸込口をはすすには

ご 注 意

◎吸込口をはすす際、落下させないように注意してください。落下により、けがをするおそれがあります。

1. 図のように吸込口を両手で支えてください。
2. 矢印の方向へ指で押して、反対側から下方へはずしてください。（吸込口の裏側に油がたまります。こぼれないように注意してください。）
※右図はRタイプの場合を示します。Lタイプの場合は逆方向へ押してください。

- 吸込口の取付は、逆の手順で行ってください。内側の曲げ部を矢印方向にして、取付けてください。



■吸込口の汚れは

- 中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中で、樹脂製タワシなどで汚れや油を洗い流してください。
 - 水分をよくふき取ってから、取付けてください。
- ※吸込口は食器洗い乾燥機で洗うこともできます。お使いの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。汚れがひどい場合は、予備洗いをしてから、食器洗い乾燥機で汚れを落としてください。

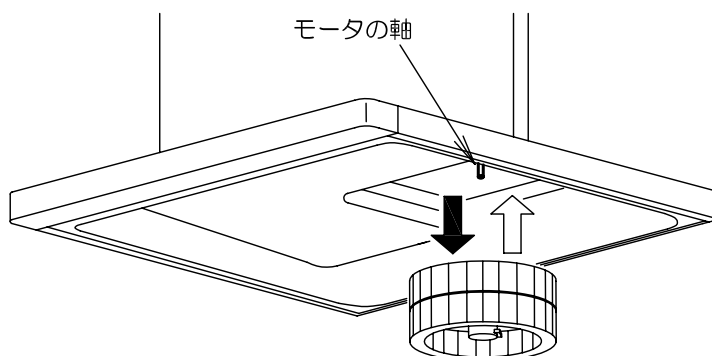
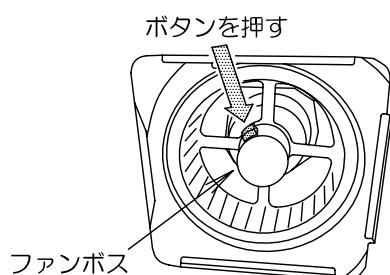
4. お手入れのしかた（5）

■シロッコファンをはずすには

ご 注 意

◎シロッコファンをはずす際、落下させないように注意してください。
落下により、けがをするおそれがあります。

1. 吸込口をはずしてください。
 2. ファンの中心部分にあるファンボスのボタンを押して、
ゆっくりシロッコファンを引き抜いてください。
- シロッコファンの取付けは、逆の手順で行ってください。
取付け後、ファンを少し引っ張り、ファンがはずれない
ことを確認してください。



■シロッコファンの汚れは

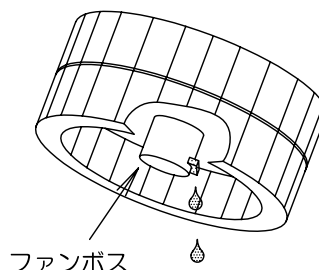
ご 注 意

◎ゴム手袋などを必ずお使いください。板金の端などで、けがをするおそれがあります。

- 中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中で、樹脂製タワシなどで
汚れを洗い流してください。
※シロッコファンを食器洗い乾燥機で洗うことは
できません。

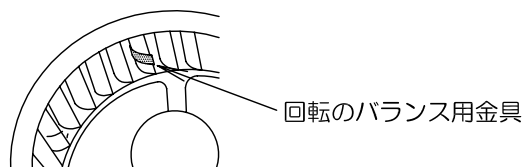


- ファンボスの内部に水が入っている場合がありますので、
ファンボスのボタンを下に向けて水抜きをしてください。



- 水分をよく拭き、乾燥させてから取付けてください。
※水分が残ったまま取付けるとサビの原因となります。

※シロッコファンの羽根に金具（回転のバランス用）が
付いている場合があります。
絶対にはずさないでください。
はずすと異常や故障の原因となります。



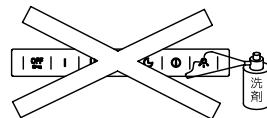
4. お手入れのしかた（6）

■本体、フードの汚れは

ご 注 意

◎モータ、操作スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけたりしないでください。

- 中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。



■前面パネルの汚れは

- 中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう十分にふき取ってください。

■お手入れ後の組立と点検

- お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の手順で組立してください。
- 各部品は十分に乾燥させてから、本体に取付けてください。
- スイッチロックを解除してください。解除方法はP.5をご覧ください。
- 操作スイッチの各スイッチを押して、運転動作を確認してください。

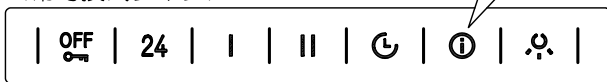
5. お手入れサインの機能

- 使用方法 ●グリスフィルターのお掃除時期をお知らせする機能があります。いつまでも快適にご使用いただくために、お手入れサインを目安にいただき、定期的にお手入れしてください。

<標準タイプ>



<常時換気タイプ>



1. グリスフィルターのお掃除時期がきたら、お手入れスイッチ（**I**）が点滅します。
2. グリスフィルターをお掃除してください。
●お掃除はP.7～P.12（お手入れのしかた）の内容に従ってください。フード内側の汚れも同時にふき取ってください。
3. お掃除後、お手入れスイッチ（**I**）を3秒間押し、表示ランプを消灯させてください。

お手入れサインの期間設定を確認・変更する場合

1. レンジフードの運転を停止してください。
2. お手入れスイッチ（**I**）を1回押して、お手入れ確認モードに入ってください。
●現在の期間設定によって、下の表に示すスイッチが点灯します。
3. お手入れ期間設定を行う場合は、お手入れスイッチ（**I**）を3秒間長押しして、お手入れ期間設定モードに入ってください。
●現在の期間設定によって、下の表に示すスイッチが点滅します。
4. タイマースイッチ（**G**）を1回ずつ押して、期間設定を変更してください。
●タイマースイッチ（**G**）を1回押すごとに、下のように期間設定が順番に変更します。同時に、点滅するスイッチも変更します。

	点灯・点滅するスイッチ				
標準タイプ	I	II	III	G	I
常時換気タイプ	24	I	II	G	I
短め（20日）	○				○
＜＜初期設定＞＞ 標準（30日）		○			○
長め（60日）			○		○
設定無し				○	○

5. 期間設定を変更したら、お手入れスイッチ（**I**）を押してください。
●スイッチの表示ランプが消灯し、設定モードが終了します。
「受付音（ピーッ）」

お願い

- ◎お手入れサインの期間はレンジフードの使用時間と使用回数から算出しています。
初期設定（工場出荷時）は標準設定（約30日）になっています。
- ◎レンジフードの使用条件により、グリスフィルターの汚れの進み方はご家庭ごとで異なります。
お手入れサインが早かったり、遅かったりする場合は期間設定を変更してください。
- ◎コンセントを抜いたり、電源ブレーカを切ったり、停電があった場合、設定は初期設定に戻ります。
期間設定を変更していた場合は、再度設定しなおしてください。

6. 故障かな？と思ったら

修理サービスをお申し付けになる前に、次の点をお調べください。

症 状	原 因
操作スイッチを押しても運転しない。	・ 停電ではありませんか。ご家庭のブレーカやヒューズが切れていませんか。 ・ 素手で操作していますか。 ・ スイッチロックになっていませんか。 ・ 整流板が正しく取付けられていますか。
運転中に異常音や振動がする。	・ 本体に前面パネル、グリスフィルター、シロッコファンなどが確実に取付けられていますか。
作動時・風量切換時に「コンッ」と音がする。	・ モータの回転が変わるときに音がする場合がありますが、故障ではありません。
ランプスイッチを押しても点灯しない。	・ 停電ではありませんか。ご家庭のブレーカやヒューズが切れていませんか。 ・ 素手で操作していますか。 ・ スイッチロックになっていませんか。 ・ 整流板が正しく取付けられていますか。
換気風量が少ない。	・ グリスフィルターが汚れていませんか。 ・ 空気の取入れ口は十分に確保できていますか。
リモコンを操作してもレンジフードファンが動かない。（リモコンは別売）	・ リモコンの送信部、本体の受信部が汚れていませんか。 ・ 乾電池が古くなっていませんか。 ・ 停電ではありませんか。ご家庭のブレーカやヒューズが切れていませんか。 ・ スイッチロックになっていませんか。 ・ 整流板が正しく取付けられていますか。
レンジフード連動型加熱機器と連動しない。 （常時換気タイプは連動しません。）	・ 「連動しない」設定になっていませんか。 ・ スイッチロックになっていませんか。 ・ 整流板が正しく取付けられていますか。 ・ 加熱機器の通信規格がNECフォーマット（38kHz）以外ではありませんか。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、運転を停止し、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカを切り、販売店にご連絡ください。

7. アフターサービス

◆長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

[本体への表示内容]

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	【製造年】 本体に西暦4桁で表示してあります。 【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。
---	---

[設計上の標準使用期間とは]

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■標準使用条件 日本工業規格 JIS C9921-2 による

環境条件	電 圧	100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz又は60Hz	
	温 度	20℃	JIS C9603参照
	湿 度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の設置説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）	機器の取扱説明書による
想定時間	1年間の 使用時間	換気時間	
		8760時間/年（常時換気） 2410時間/年（局所換気）	

[経年劣化とは]

※長期間にわたる使用や放置に伴い生じる部品劣化をさします。

愛情点検	長年ご使用のレンジフードの点検を！		
	このような 症状はあり ませんか	・スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり、回転しない。 ・運転中に異常音がしたり振動がある。 ・異臭がする。 ・その他、異常を感じる。	 このような症状のときは、事故防止のためにすぐに電源を切ってから、お買い上げの販売店または工事店に点検・修理をご依頼ください。

タカラレンジフードのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申しつけください。

また、おわかりにならないときは下記フリーダイヤルへご連絡ください。



0120-557-910

受付時間 9:00～18:00（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

①製品名(レンジフード) ②型式 ③故障または異常の内容（できるだけ詳しく） ④ご住所、ご氏名、電話番号、道順

補修用部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

8. 保証書

レンジフード

保証書

品番				
保証期間		1年間	★お買い上げ日	年 月 日
★ お 客 様	ご住所	〒		
	お名前	見 様 本 ()		
★ 販 売 店	住 所	TEL ()		
	店 名			

★印欄に記入のない場合には有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

記

本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店またはP.14に記載のフリーダイヤルへ出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはP.14に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (2) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (3) 鉄粉などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷。
 - (4) メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解などに起因する不具合。
 - (5) お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (6) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合。
 - (8) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
 - (9) 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波など天地異変または戦争、暴動など破壊行為による不具合。
 - (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合。
 - (11) 異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
 - (12) 本書の提示がない場合。
 - (13) 本書にお客様名、販売店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (14) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only Japan.）
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様へ
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP.14に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

修理記録	年 月 日	修 理 内 容	担 当 者

タカラ スタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号
TEL (06) 6962-1531